

LCC (Low-Cost Carrier) 初体験

越冬のため 12/20 日本を脱出しました。今回始めて **Air Asia** を利用しました。羽田からクアラルンプール(KL)を経由してコタキナバル(KK)までの往復航空運賃は、夫婦 2 人で 11 万円弱 (2 人分の預託スーツケース (20kg) と預託ゴルフバッグ (15kg) の代金を含む) でした。

KL へ向かう便は、羽田を 23:45 に飛び立ちました。20:40 から受付が開始されました。予めネットでチェックインを済ませた人は、WEB チェックイン済の列に並び荷物を預けます。空港でチェックインをする人は、搭乗手続きの列に並びます。こちらの列は、チェックインと荷物の預託の処理が行われるので、列が長くなっていました。KK まで通しの航空券を購入した人は預託荷物がパスルーされるので KL で荷物をピックアップする必要はありません。私たちは航空券を別々に購入したので KL で預託荷物をピックアップし、再度預託しました。マレーシア航空 (MAS) ならば、航空券が分かれていても最終目的地まで預託荷物を途中でピックアップすることなく運んでくれます。KL では、ゴルフバッグは重量測定を受けた後、大きなサイズの荷物を預託するレーンに運ぶ必要があります。

KL の LCC 専用空港はこじんまりしていて国際線から国内線への乗り換えに伴う移動距離が短くて済みます。空港特有の華やかさはなく、必要なものだけが揃っているという感じです。KK の LCC 専用ターミナルも同様です。羽田では一番外れの、近くに店舗がなにもないゲートが **Air Asia** の搭乗口でした。

LCC は、「アンバンドル」と「セルフサービス」を徹底して低価格を実現しようとしているようです。MAS の場合、航空運賃に、20kg の荷物預託代金、ゴルフバッグの預託代金、機内での飲食費、イヤフォーン借用代金、ひざ掛け借用代金、座席指定代金などがバンドルされています。従って、何れかのサービスを必要としない人もその代金を支払うことになります。**Air Asia** の場合、航空運賃と切り離して、各種サービスの費用が定められているので、そのサービスを必要とする人だけが該当する代金を支払えばよく合理的であると言えます。ネットを介して **Air Asia** の航空券を購入するときに、座席指定をすると有料ゆえ、しないでおくと、適当に席が割り当てられます。WEB チェックイン時に、同時に航空券を購入したにも拘らず、家内との席が離れてしまっていることに気付き、座席を変更し、その費用を支払いました。

WEB チェックインは、搭乗日の 2 週間前から行うことができます。空港のカウンターでチェックインを行うと時間がかかるだけでなく費用が生じます。

機内の塗装は赤色が多く明るいけど少し落ち着かない感じがしました。また、若い客が多く、多少騒がしいとも思いました。機内の設定温度をもう少し高くしてくれた方が心地よいでしょう。

Air Asia での旅は、総じて満足のいくものでした。安全で低価格の飛行を提供するために彼らが設定した考え方や特長を私なりに理解し納得することができました。要領が分かったので次回からもっと快適に飛行することができるでしょう。

以上